

# 1. 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400032
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム たるみず太陽の家
所在地	鹿児島県垂水市浜平2189番地6 (電話) 0994-32-5030
自己評価作成日	令和4年2月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

地域密着型グループホームを目指し、利用者様が自然と触れ合いながら要介護状態の軽減と悪化防止のために質の高い介護サービスを提供出来るよう最善を尽くしています。  
認知症カフェの開催や地域住民と繋がりを持ちながら認知症の家族を持つ方の相談を行っています。  
目の前の庭には花々を植えることで、その時々季節を感じて頂いたり利用者中心の家庭的な雰囲気の中で一日一日を楽しく穏やかに過ごして頂けるよう支援しています。  
看取り実績もあり重度化や看取りに関する勉強会・研修に参加し職員の知識やレベルアップを図っています。  
急変時には主治医から家族や職員に対して直接説明を受けることが可能であるなど、夜間の往診・24時間の医療連携が図れていることから安心して生活出来る環境で支援を行っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

- ・当事業所は、同系列のグループホーム太陽の家が県内に複数あり、法人として関連組織を展開している。
- ・運営推進会議を通して委員から届いた意見をサービス向上に活かしている。
- ・協力医療機関とは24時間医療連携体制が図られ、本人や家族の安心につながっている。
- ・職員が働きやすい環境があり、休暇も取りやすく福利厚生が整っている。
- ・職員間のチームワークが良く、介護サービスに反映している。代表や管理者は職員の資格取得に協力的で、職員は自己研鑽に努めている。
- ・勉強会や研修会を行い、人格の尊重とプライバシーの確保について取り組んでいる。
- ・年間計画で初詣等に出かけている。近所を散歩したり、受診の帰りにドライブで車窓から花を眺めたり、周りに人がいない時は車から降りて外気浴や季節を感じるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	日々の生活のサポートを行う中で利用者様の安心・安全に考慮し地域・行政との連携を図りながら理念を職員間で共有している。	理念はパンフレットに掲載し、玄関から見えるところに掲げている。申し送り確認をしたり日常のケアの中で振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者様が地域との繋がりを保てるよう認知症カフェへ加入しており地域の行事へも可能な限り参加し交流を保てる様に努めている。	自治会に加入している。コロナ禍で地域行事は自粛している。事業所で敬老会などを開催したり、散歩で近所の人と挨拶を交わしている。収穫した野菜の差し入れ等がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症カフェや行政の勉強会などを通して認知症の方の理解や支援方法の知識を深め地域の人々へ貢献出来る様に心がけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での関係各所・地域の代表者から頂いた意見・決定事項を職員間で共有しサービスの向上に努めている。	会議は定期的に行われ、ホームの状況・行事報告・外部評価結果報告などを書類にして委員へ手渡したり郵送し、意見を聞き、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議や日頃から不明な点や、事故報告等を実施し事業所から情報発信するなど協力関係を築いている。	市の担当者の窓口に直接行って介護保険の申請や事故報告・感染症の取組等、助言や指導を受けている。市主催の研修会に参加して、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ミーティング等で利用者様の状況確認を行いながら身体拘束委員会を開催している。職員へは勉強会、ネット等での情報収集を促している。	身体拘束委員会があり2～3ヶ月毎に開催している。ミーティングでも毎月話し合っ、ネット情報などでの事例を参考に勉強会をしている。言葉も馴れ合いにならないように注意し合っている。やさしい丁寧な話し方に心がけ、身体拘束しないケアに取り組んでいる。玄関は昼間は施錠していない。外出希望の時は職員と一緒に散歩をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は常にマスコミ報道等の記事に関心を持ち、日々の基本的な介助の中で虐待につながる行為は無いか検討している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する制度において勉強会の参加やネット等での情報収集を行い職員間で共有、活用出来る様指導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際には「重要事項説明書・入居契約書を元に十分な説明を行い不明点、疑問点を伺い制度改訂・規定変更等においても都度説明を行い確認・納得頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の面会、電話連絡時に日々の状況の説明を行っている。アンケートや意見箱等を利用しながら普段からも気軽に疑問点等聞いて頂ける様な関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者と入浴中に楽しく会話する中で日頃聞けないこと等を記録に残している。家族からは面会時や電話・アンケートで思いを聞いている。状況報告を行い、意見は運営に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の申し送りや業務内で意見を出し合い毎月のミーティング等で協議・共有し運営改善に反映させている。</p>	<p>管理者は現場の職員の声を大切にしている。日常の関わりや申し送りで思いを把握し意見や提案は運営に反映させている。職員関係も良好で管理者への相談も気軽にできている。職員会議などでも意見が多く出ている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者・管理者は管理者会議で決定したことを報告・共有した上で職員個々の勤務状況や努力等を把握し各自が「やりがい・向上心」を持てるよう環境や条件の設備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者・管理者は最新の介護技術を学べるよう情報収集を行いひとり一人の経験に応じた研修会を受ける機会を確保しレベルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市の研修会へ参加し同業他社の職員と情報交換など交流を図り問題点や取り入れたい手法など話し合っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>馴れないところで不安な思いをしないよう声掛けを行い寄り添うことで、信頼関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始段階で話しやすい雰囲気づくり心がけ、希望・要望・心配事など時間をかけて傾聴し信頼関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用開始段階で本人や家族の状況を確認しニーズに合ったサービスの提供が出来るよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家庭的な雰囲気づくりを心掛けており本人が出来る事は手伝って頂き感謝の言葉を伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>病院受診や面会など家族の役割を設け共に本人を支えていくことを心がけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人が生活してきた馴染みの場所にドライブで出かけ知人に声をかけて頂くなど支援している。</p>	<p>家族は窓越しでの面会をしている。年賀状や手紙の支援をしたり、家族の協力を得て、買い物に出かけている。理美容師は3ヶ月毎にホームに来所している。受診後、住んでいたところにドライブし、馴染みの関係の支援をしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人ひとりが孤立せず気の合う人との会話が楽しめるよう支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら状況伺ったり相談や支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族からの要望や意見を伺うようにしている。困難な場合は本人本位のプラン作りに努めている。	生活歴を参考にして、家族から聞きとったり、本人の表情や仕草から思いを把握している。得られた情報は記録してケアプランに活かしている。意思疎通が難しい利用者は反応やしぐさで判断し、家族からも意向などを聞き、思いに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等これまでの経過を伺いサービスに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、身体状態など出来る事等の現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らせるよう職員の気付きをケアに取り入れ、本人・家族・必要な関係者と話し合い現状に応じた介護計画を作成している	本人や家族に聞き取りをして主治医の意見を参考に介護計画を作成している。毎月モニタリングをしている。状況が変化した時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ミーティングや毎日の申し送り等で情報や意見を共有して介護計画の見直しに活かしている		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	ご家族や本人の状況・ニーズに対応し柔軟なサービスや支援が提供出来るように努めている		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	日常の会話・市報の閲覧やテレビ等の情報を通して地域資源の把握に努め利用者様の体調や状態に応じて行事に参加するなど楽しく過ごして頂けるよう支援している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者本人の希望するかかりつけ医を入所時も断続している。状態をその都度家族へ、必要時にはかかりつけ医へ情報提供し適切な医療が受けられるように支援している	かかりつけ医は契約時に確認している。協力医の往診が2週間に1回ある。看護師による健康管理を実施している。他科受診は家族の協力を得ている。家族が行けない場合は職員が同行している。受診後は必ず家族に電話で報告している。医療連携体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員は日常の関わりの中で気づき情報を申し送りに記入し日々の情報を共有している。また、その都度、看護師に報告相談し利用者個々が適切な看護受診が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>日頃より医療関係者に相談を行い情報交換をおこなっている。利用者入院時は家族・病院との連携により状況把握に努め安心して治療出来るように支援している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、重度化・終末期について説明し、利用者・家族に意向確認を行っている。重度化・終末期の段階に応じ、その都度利用者家族・医療関係者と話し合い方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入所時に本人や家族に説明し同意を得ている。状況の変化に伴い、家族へ主治医・管理者・看護師と共にホームでできることを説明している。特別養護老人ホームや医療機関等の選択肢を伝え、家族の意向を確認している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変・事故発生時に備えて職員間で解決策を実践している。事業所内で出来る範囲応急手当、救命処置の実戦演習を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回以上消防訓練を実施し災害・火災など地域の方々と連携して全職員が日頃から安全対策を意識している。</p>	<p>自主訓練を年2回実施している。避難経路・避難場所・緊急通報装置・連絡網の確認を行っている。備蓄は水・米・缶詰・羊かん・インスタント食品・レトルト食品等の他にもヘルメット・頭巾等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重しながら誇りやプライバシーを損ねないように言葉かけや対応を行うようにしている。	勉強会や研修会を行い、人格の尊重とプライバシーの確保について取り組んでいる。入浴・トイレ介助や居室のドアをノックし声かけして了解をもらってから入室している。トイレのドアは必ず閉めるようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の望みや思いを表して頂けるよう選択肢を増やし声掛けを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のプライバシーを守り個人のペースやスタイル、体調に合わせ外出等の声掛けを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	一人ひとりの趣味や好みに合わせ、その人らしく身だしなみやお洒落が出来るように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お祝い事や行事など献立を工夫し料理の紹介をしながら食欲や興味に繋げている。	嗜好調査をして好み等を聞いて要望に応じている。旬の物を取り入れ職員交代で食事の調理や準備を行っている。食形態もとろみ・きざみ食や梅干等を入れている。行事食のおせち料理や敬老会・誕生会等、楽しい食事になっている。利用者は玉葱の皮むきや筍の皮むき等、職員と一緒にしている。家族と外食に出かけることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分補給の確保、個々の食事摂取形態に合わせて栄養バランス、水分補給をベースに喜んで頂けるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の汚れや匂いに気を付けて毎食後、確認を行い一人ひとりの能力に合わせて支援している		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの自立支援を第1の目標とし、安全に配慮ながらひとり一人の排泄パターンを把握した上で支援を行っている。	排泄チェック表を基に、トイレ誘導してトイレでの排泄を支援している。排泄の自立に向けた支援を行っている。トイレ誘導を嫌がる利用者もいたが、スムーズに介助できるようになっている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便コントロールでは最新の情報を共有し医療関係と連携を取りながら水分量と運動量を考え便秘に		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>利用者様とのコミュニケーションを取り、その中で要望等を聞き出来る限り実現出来るよう取り組んでいる</p>	<p>入浴は週に2回から3回を目安に支援している。羞恥心や不安に気配りしながら、コミュニケーションをとり、同性介助で対応したり、ゆず湯や入浴剤を使って楽しんでいる。入浴を拒む場合は、時間をずらしたり介助者を変更したり、翌日にする等、無理のない支援をしている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの利用者様の情報を把握、分析し、その方にあった環境で休息頂く。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員同士で服薬情報を共有し、それぞれが理解出来るように努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者様の尊厳を重視して、その方の「出来ること」「好きなこと」を確認し楽しみを提供出来るよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節感を味わうため室内環境や外を見れるように工夫している。行事には極力参加出来るように支援している。	年間計画で初詣等に出かけている。近所を散歩したり、受診の帰りにドライブで車窓から花を眺めたり、周りに人がいない時は車から降りて外気浴や季節を感じるようにしている。外出できない利用者に花を採ってきて飾り、楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族よりお金をお預かりしていることを本人にも伝え希望や必要に応じて物品を購入し、その旨も本人・家族へ報告している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	届いた手紙は本人の手の届く所に置いたり居室へ掲示させて頂くなど配慮を行っている。お電話の希望があれば都度対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりの生活習慣を把握しその状況に合わせ席替え等の配慮を行っている。湿度、温度管理を行い季節感を出す壁絵を貼ったりと心地よく過ごせるように工夫を行っている。	コロナ感染防止の為に業務用加湿器を兼ねた空気清浄機や換気を定期的に行っている。壁は季節ごとに利用者が協力して作った作品が飾ってある。台所は対面式で、大型テレビやソファがあり、ゆっくりとくつろげ、居心地よく過ごせるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースでは利用者様の相性にやその時の健康状態に合わせて居場所を確保している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>心地よい空間を作って頂くために家族や本人と相談し自宅で使い慣れた置物や家具衣類・ご家族の写真などを持ち込んで頂いている。</p>	<p>エアコン・ベッド・洗面台を設置している。トイレのある部屋が2ヶ所ある。本や雑誌を家族が持ってきたり、家族の集合写真、自宅で使っていた小物等を側に置き、安心できる居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自立した生活が送れるように、ひとり一人の「今できること」「わかること」を把握し障害物を取り除き安全な環境の支援に努めている</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない